

7

ちいき 地域で受けつがれてきたもの



↑ ア 南大東エイサー (南大東村青年連合会)

うたこさんたちが住んでいる南大東村では、毎年のようにいろいろな行事が行われています。うたこさんたちは、写真を見ながら、思ったことや気づいたことを発表しました。



「エイサーは、旧盆^{きゅうぼん}になると青年会の人がやっているよね。」



「子どもからお年よりまで、たくさんの人が集まっているよ。」



↑ 豊年祭力士 (江戸相撲)



↑ 豊年祭

↑ 大東太鼓



「^{ほうねんさい}豊年祭では、^{みこし}神輿や^{だし}山車をか
いで、にぎやかなお祭りだよ。」



「^{さんか}おおぜいの人^{さんか}が参加しているね。
どうしてだろう。」



「^{だいとうだいこ}大東太鼓は、いろいろなお祭り
や行事で見ることができるよ。」

うたこさんたちは、南大東村で行われて
いる行事やエイサーのことを、調べて
みることにしました。

キーワード

旧盆

かいせつ

旧れきの7月13日か
ら15日までに行われ
る行事。

豊年祭

かいせつ

9月22日と23日の
二日間にわたって行わ
れる祭り。



↑ ア 南大東島のエイサー (1950 ~ 60 年ごろ)

?この時間の問い

地域で受けつがれている行事には、どんなものがあるのだろうか。

ちいきのこ 地域に残る年中行事

うたこさんたちのクラスでは、先生が昔の写真を見せてくれました。



「昔から、エイサーや豊年祭ほうねんさいが行われていたんだね。」

キーワード

エイサー

かいせつ

旧盆きゅうぼんの7月15日の夜に、太鼓たいこや三線さんしん、旗頭はたがしらなどを持って、おどります。人々の健康けんこうや家族のはんえいねがを願うおどりです。

先生が、昔から行われていた行事について、うたこさんたちに説明せつめいしてくれました。



「どうして、こんなに長く続いているのだろう。」

うたこさんたちは、村に伝つたわる年中行事について、調べてみることにしました。

豊年祭での「ほうのうずもう」➡



やく
約 100 年前の写真
だね。今とは、衣
しょうもちがって
いるよ。



↑ 1920 年ごろの豊年祭 (神宮祭)



先生の話

毎年、きまった時期に行われる行事は、わたしたちのくらしの中にたくさんあります。

このような行事を年中行事といいます。わたしたちの南大東村にも、地域の特ちょうに合わせた、さまざまな年中行事があります。

旧盆きゅうぼんは、旧れきの 7 月 13 日から 15 日にかけて行われています。旧れきというのは、昔のこよみで表した月日のことです。

行われる日

1 月 1 日
1 月 2 日
5 月中ちゅうじゅん
6 月 4 日
6 月下げじゅん
6 月 23 日
7 月 1 日
7 月 17 日
8 月 1 日
8 ~ 9 月
9 月中ちゅうじゅん
9 月 22 日
9 月 23 日
10 月 10 日
10 月中ちゅうじゅん
11 月 1 日
11 月初しよじゅん
11 月 16 日
11 月下しよじゅん

年中行事

さいたんさい
歳旦祭
せいじんしき は た ち いわ
成人式 (20 才を祝う会)
さとうきびの日
むしがみさい
虫神祭
しんぜんきよ う ぎ
南北親善競技大会
い れいついとう
慰霊追悼式
きゅうとう く あま ご
旧東区雨乞い
かんのんさい
観音祭
きた く
北区雨乞い
きゅうぼん
旧盆 (エイサー)
けいろうかい
敬老会
ほうねんさい よい
豊年祭 (宵祭り)
豊年祭 (本祭り)
こん び ら さい
金比羅祭
さんざうまつ
産業祭り (ボロジノフェア)
たまおきほうとく
玉置報徳会
りょうじょうたいかい
陸上競技大会
あき ば さい
秋葉祭
えきでん
駅伝大会

↑ 南大東村の年中行事



↑ ア エイサー会館 (沖縄市上地)

?この時間の問い

エイサーとは、どのようなものだろう。

エイサーについて話をきこう

うたこさんたちは、エイサーについて調べるために、村役場の係の人に話をきいてみることにしました。



村役場教育委員会の人の話

エイサーは、旧盆きゅうぼんの時期におどられる年中行事のひとつです。おもに地域ちいきの青年会の人たちによっておどられ、地域ごとにそれぞれのおどりの型かたがあります。三線をひきながら歌われるエイサーの歌に合わせて、大太鼓おおだいこや締太鼓しめだいこなどを持ちながら隊列たいれつを組んでおどります。もともとは、なくなった人をなぐさめるためにおどっていました。

エイサーは、約400年前から始まったといわれています。今では、沖縄の代表的な伝統行事として、各地域でおどられています。1956（昭和31）年には、第1回全島エイサーまつりが行われ、日本や世界からも注目されるおどりとなりました。

沖縄市には、2018（平成30）年に「エイサー会館」が開設けつせつされました。エイサーの衣装いしょうや使われる楽器がっきがかざられている他、エイサーのれきしについても学ぶことができます。

約 400 年前

約 130 年前

約 110 年前

1945 (昭和 20) 年

1952 (昭和 27) 年

1956 (昭和 31) 年

1964 (昭和 39) 年

1970 (昭和 45) 年

1975 (昭和 50) 年

1995 (平成 7) 年

2000 (平成 12) 年

2010 (平成 22) 年

2011 (平成 23) 年

2018 (平成 30) 年

エイサーのもとになるおどりが始まったとされる。

エイサーのもとになるおどりが沖縄島の各地に広がる。

てんじ会でエイサーがおどられた記事が新聞にのる。

戦争でエイサーがおどれなくなる。

盆踊り大会が開かれる。

第 1 回沖縄全島エイサーまつりが開かれる。

第 1 回青年ふるさとエイサーフェスティバルが開かれる。

大阪万博でエイサーがおどられる。

関西でエイサー大会が開かれる。

第 1 回一万人のエイサー踊り隊が開かれる。

ロンドン沖縄三線会が活動を始め、

第 1 回全国エイサー大会が開かれる。

第 1 回世界エイサー大会が開かれる。

エイサーのことを楽しみながら学べるエイサー会館が、沖縄市にできる。



↑ 今から約 60 年前の
エイサー (沖縄市立
郷土博物館所蔵)



↑ 現在のエイサー

↑ イ エイサーにかかわる主なできごと



「少しずつ^か変わりながら、約 400
年もの間、^{つづ}続いているんだね。」



「おどるのが楽しいから、続いて
きたのかな。沖縄の各地域にも
広まっているよ。」

うたこさんたちは、学習問題について
予想したあとで、学習計画を立てました。

つながる・ひろがる

▶ エイサー会館

学習計画

調べること

- ・エイサーについて調べる
- ・多くの人が見に来るわけ
- ・他の地域への、エイサーの広まりにつ
いて

調べ方

- ・エイサーの^{れきし}歴史にくわしい人に話をきい
たり、自分もおどってみる。
- ・エイサーをおどっている人に話をきく。
- ・資料やインターネットを使って調べる。



↑ ア 昔のエイサー（鼻の頭や顔全体に化しようをしているのがわかります）

この時間の問い

おどっている人に話をきこう

エイサーを

おどっている人は、
どのような思いで
おどっているの
だろう。

うたこさんたちは、エイサーをおどっ
ている青年連合会の会長さんに、エイサー
のよさをきいてみることにしました。



南大東村青年連合の会長さんの話

南大東村では、戦争が終わったあとの1950年前後から、各地域でエイサーがさかんにおどられるようになったときいています。当時の南大東村のエイサーは、東京の八丈島の文化と沖縄の文化が合わさった特ちょう的なエイサーでした。衣しょうや楽器、おどりなども沖縄島のエイサーとちがっていました。また、鼻の頭に白い化しょうをほどこして、おどっている地域もあったそうです。今のような沖縄島とにたようなおどり方や、衣しょうになったのは最近のことです。沖縄各地の青年会と交流を持つことで、おどり方や衣しょうなども変わってきました。

エイサーは、太鼓を持つ人、おどる人、三線をひく人、旗頭などいろいろな役割に分かれています。太鼓の音がひびくと、みんながひとつになっていることを強く感じます。青年会員が少なくなり現在では、各字の代表的なものを取り入れて、青年連合会がおどっています。わたしたちは南大東村のエイサーを伝統行事として、これからも多くの若い人にひきついでいきたいと考えています。



↑ Ⅰ 大太鼓を持つ人



↑ Ⅱ 旗頭を持つ人



↑ Ⅲ おどる人



↑ Ⅳ 三線をひく人

現在の エイサー



「エイサーで、^{おおだいこ}大太鼓を打ったことがあるんだ。楽しかったよ。」



「エイサーは、いろいろな役割を持った人たちでおどられているんだね。」



「みんながひとつになるって、どんな感じなんだろう。」



「わたしたちも、エイサーを守っていきたいね。」

つながる・ひろがる

▶ 南大東青年連合会の
エイサー動画

キーワード

でんとう
伝統行事

かいせつ

古くから伝わる行事で、年中行事も伝統行事の一つ。



↑ ア 全島エイサーまつり (左：嘉手納町千原エイサー保存会 右：南風原町新川青年会)

この時間の問い エイサーの発展

エイサーは、
どのようにして
広まっていったの
だろう。

うたこさんたちは、沖縄全島エイサー
まつりを見に、おおぜいの人があるわけ
を、エイサー会館の人にインタビューし
ました。



エイサー会館の人の話

沖縄全島エイサーまつりが始まったのは、今から約
70年前です。まつりが行われるようになって、地域で
おどられていたエイサーは、多くの人たちに楽しんでも
られるように少しずつ変わってきました。おどりの見せ方をくふ
うしたり、おどりの人数や楽器をふやすようになりました。

さらに、「創作エイサー」とよばれる新しいエイサーもたん生し、
エイサーのみりょくがより広まり、東京や大阪などでも、おどられ
るようになりました。また、沖縄の青年会の人が東京や大阪などに
行って指導することで、沖縄と同じようなエイサーをおどっている
団体もあります。

今では、いろいろな地域でエイサーがおどられ、日本各地や台
湾、カナダなどが参加して、創作エイサーもふくめた世界大会が行
われるようになりました。わたしたちも、エイサーを通して、他の
地域との交流を深めています。



↑ **I** 世界エイサー大会
(2017 年大会—提供：
世界エイサー大会事務局)

かごしまけん よろんちよう
鹿児島県与論町 (1 か所)

ひろしまけん
広島県 (1 か所)

きょうと ふ
京都府 (1 か所)

やまがたけん
山形県 (1 か所)

みやざきけん
宮崎県 (1 か所)

おおさか ふ
大阪府 (2 か所)

ふくしまけん
福島県 (1 か所)

とうきょう と
東京都 (3 か所)

あい ち けん
愛知県 (2 か所)

み え けん
三重県 (1 か所)

0 400km

↑ **U** エイサー会館と交流のある地域 (提供：エイサー会館)



「人数や楽器がふえることで、エイサーがより楽しく見られるようになったんだね。」



「沖縄県以外でも、エイサーが^{い がい}おどられているんだね。」



「外国でもエイサーがあるなんて、おどろきだね。」

エイサーが、これからも、さらに発展していくために、大切なことは何かを考えてみました。



「みんなでいっしょにおどりを楽しもうよ、という気持ちが大切なんだね。」

● 中国
● 台湾
● インドネシア
● カナダ
● アメリカ
● ブラジル
● イギリス

↑ **I** 世界エイサー大会
に参加した国々
(2010～2018 年—提供：
世界エイサー大会事務局)

つながる・ひろがる

▶ 全島エイサーまつり
プログラム

?この時間の問い

豊年祭とは、
どのようなもの
だろう。

ほうねんさい

豊年祭について、調べてみよう

うたこさんたちは、次に、豊年祭について調べることにしました。



「豊年祭は、2 日間にわたって行われる行事だよね。」

つながる・ひろがる

▶ 豊年祭動画



「昔から続いている行事だって、きいたことがあるよ。」

豊年祭が行われるわけを知っている地域の人に、教えてもらいました。



地域に住むおじいさんの話

豊年祭は、大東神社に豊かな実りの年になることを願いつつ、村民がみんなでいっしょに楽しめる行事として、毎年、9 月 22 日と 23 日の二日間にわたって行われる行事です。豊年祭は、島で一番大きな祭りで、沖縄県ではめずらしい神輿や山車が各字から出され、かそう行列やすもう、えん芸などを行う八丈島と沖縄の文化が合わさったとく特の行事です。

22 日の「宵祭り」は、学校や会社も午後から休みになり、みんなで祭りに参加します。午後 4 時ごろ、村役場前から大東神社まで約 1.5 km の道のりを、かざりつけをした山車や各字の神輿によるパレードが始まります。大東神社でお参りした後は、参道から在所集落を勇そうにねり歩き、宵祭りをもりあげます。

23 日の「本祭り」では、朝からパレードが始まり、字ごとに神輿をかついで神社本殿までの階だんをかけ上がります。また、神社では、江戸相撲と沖縄角力の奉納相撲も行われます。午前中は、小学生から中学生までの子どもたちがすもうを取り、午後から相撲甚句による土俵入りから始まる江戸相撲が行われます。



↑ ア 豊年祭でのパレード (神輿)



↑ イ 豊年祭でのパレード (山車)



↑ ウ 江戸相撲の土俵入り



↑ エ おおぜき 大関おおぜきが生まれた男の子をだいてけんこう健康を願うねが



↑ オ 沖縄角力



↑ カ 神輿をかかげて今年の豊作を願うほうさく

村役場教育委員会の人の話

南大東島が開たくされたのは 1900 年ですが、その 20 年後に大東神社（大神宮）がつくられ、その後に島民が楽しめるためのお祭りとして始まったといわれています。その当時は、大東神社祭として 1 月 23 日に行われていました。

南大東村の年中行事

わたしたちの南大東村には、エイサーや豊年祭ほうねんさいの他にも守り伝えられてきた年中行事があります。

南大東村の文化は、東京都の八丈島と沖縄から伝えられてきたものが多く、その二つの文化が合わさって村どく自の文化として受けつがれてきました。



虫神祭(むしがみさい)

島の重要な作物であるサトウキビじゅうようが、バッタの大発生で大きなひがいをうけました。その後、毎年6月4日に、さとうきびを病気や害虫かがいちゅうから守り、ゆたかにみのることを願って行われている行事です。

旧東区雨乞い(きゅうとうくあまごい)

雨が少なく、つねに水不足になやまされていた島で、つゆが終わった後の7月1日に、サトウキビや他の作物の成長を願う気持ちと、雨への感しゃをこめて行われる行事です。



観音祭(かんのんさい)

大東神社の北方、観音山の中腹ちゅうふくに観音様がまつられ、毎年7月17日に観音祭が行われます。島では、昔から牛の飼育しいくがさかんだったので、牛や家ちくが病気にならずに安産あんざんであることを願う行事です。

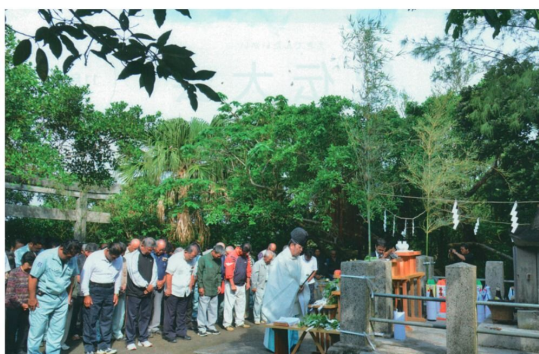


← 北区雨乞い(きたくあまごい)

旧東区と同じように、雨が少なく、つねに水不足になやまされていた島で、^{ほうさく}豊作と雨への感しやをこめて8月1日に行われる行事です。ススキで火をたき、酒やくだものなどをそ^{だいこ}なえて、大東太鼓を打ち鳴らします。

金比羅祭(こんぴらさい) →

毎年10月10日、航海の安全や^{りょう}漁の安全を願って、金比羅神社で行われます。海を渡ってきた開たく者として航海安全を求めたのが始まりで、海にかこまれてくらす人々が、海の幸を分け合うための行事です。



← 秋葉祭(あきばさい)

毎年11月16日、島の東がわにある秋葉神社にて火災が起こらないよう願うための行事です。1925年につくられた秋葉神社がある山は、神社があることで秋葉山とよばれるようになりました。

◆他にもこんな年中行事があります。



↑ 歳旦祭(さいたんさい)



↑ 南北両大東村親善競技大会



↑ さとうきびの日

1月～2月	桜まつり (県内各地)。	8月	一万人のエイサー踊り隊 (那覇市)
4月～5月	伊江島ゆり祭り	旧れき 8月	多良間の豊年祭 (八月踊り)
5月	那覇ハーリー	旧れき 8月	糸満大綱引
旧れき 5月	海神祭 (県内各地)	旧れき 9月	全島獅子舞フェスティバル (うるま市)
6月	沖縄民謡フェスティバル (沖縄市)	10月	那覇大綱挽
7月	宮古島夏まつり	10月	北中城まつり
7月	海洋博公園花火大会 (本部町)	11月	石垣島まつり
旧れき 7月	沖縄全島エイサーまつり (沖縄市)	11月	村踊 (伊江村)
8月	与那原大綱曳	11月	首里城祭

↑ **ア** 沖縄県のおもな年中行事

この時間の間い

県内に、昔から受けつがれてきたものは、どのようなものがあるのだろう。

さがそう、昔から受けつがれてきたもの

うたこさんたちは、エイサーの他に、
おきなわ
 沖縄県で昔から受けつがれてきたものについて知りたくなりました。そこで、気になったものを調べてみました。

つながる・ひろがる

旧暦行事カレンダー

南大東村では、大東太鼓があるよね。昔から伝えられてきた伝統芸能なんだね！



↑ **イ** 多良間の豊年祭 (多良間村)



↑ **ウ** アンガマ (石垣市・竹富町)



↑ **エ** パートゥ (宮古島市)

久米島町



↑ **サ** 与那国町



↑ **オ** ミティウタ (与那国町)

与那国町

竹富町

石垣市

多良間村

宮古島市



↑ 力 しおやわん おおぎみ
塩屋湾のウンガミ (大宜味村)



↑ キ あだ くになみ
安田のシヌグ (国頭村)



↑ ク うえず けじゅうたく くめじま
上江洲家住宅 (久米島町)



↑ ケ なかむら けじゅうたく きたなかく
中村家住宅 (北中城村)



↑ □ なかくすくじょうあと
中城城跡 (中城村)



B
那覇ハーリー (那覇市)



↑ ス よなばる おおつなひき
与那原の大綱曳 (与那原町)

↓ シ しゅりじょうあと せかい いざん
首里城跡 (世界遺産)



↑ セ だいたうだい こ
大東太鼓 (南大東村)



↑ ア 大東太鼓

?この時間の問い

大東太鼓とは、
どのようなもの
だろう。

だいとうだい こ

大東太鼓について調べよう

うたこさんたちは、大東太鼓のことを
調べるために、昔のことにくわしい地域
の人をたずねてみました。



地域に住むおじいさんの話

南大東島は、1900（明治33）年に東京都八丈島の人たちが中心となって開たくを始めました。その八丈島の人たちから伝わってきた八丈太鼓が元になっています。八丈島の八丈太鼓は、江戸時代（1603～1868年）から始まったとされていますが、はっきりしたことはわかっていません。八丈太鼓が元になった大東太鼓ですが、時代とともに沖縄太鼓の打ち方も加わり、どく自の文化として根づいてきました。

大東太鼓は、お祭りやお盆、お祝いごとの場など、南大東村では欠かすことができない伝統芸能です。この太鼓の特ちょうは、両面打ちで型にとらわれずに、それぞれの個性でたたくことにあります。打ち手がかわる回し打ちや、そろい打ちなどがあり、そのみりよくは人々を楽しませてくれます。

大東太鼓を守り伝えるために

うたこさんたちは、次に、大東太鼓が
どのようにして受けつがれてきたのか、
あおいかい
碧会の会長さんに話をきいてみました。

?この時間の問い

大東太鼓は、
どのようにして、
守り伝えられて
きたのだろう。

大東太鼓碧会の会長さんの話



1993年、大東太鼓を守り伝えるために、当時の
教育長松川さんが村の青年たちに声をかけ、「八丈
太鼓に音符をつけてアレンジした大東太鼓をつくろ
う」と、てい案されました。それを引きつぎ、川満さんたち
が、村のようち園から中学3年生までの子どもたちが参加す
る南大東村「碧会」を始めました。その後、村の子どもたち
数十名による練習が行われるようになりました。約20年前に
始まった碧会の練習は、村の最高学年である中学生がリーダー
となり、後はいの中学生や小学生、ようち園児へと太鼓の打
ち方や礼ぎ作法などが伝えられています。碧会では、村の行
事だけではなく、沖縄島や東京、京都など各地域のイベント
にも参加し、南大東村の文化を知ってもらうための活動を続
けています。子どもたちが大東太鼓を学ぶことで、きょう土
を愛し、きょう土をひらく子になってほしいと願っています。



「わたしたちが参加している碧会
は、およそ20年前から続いて
いるんだね。」



「この伝統芸能を、守り伝えるこ
とが大切なんだ。」

うたこさんたちは、大東太鼓について
調べたことをまとめることにしました。

キーワード

伝統芸能

かいせつ

古くから伝わる芸術や
ぎのう。音楽やおどり、
絵や工芸品などがあ
る。

南大東村の文化財 ぶん か ざい



ふるさと文化センター

南大東村の歴史を学ぶ資料館で、館内には昔の様子をあらわす農業で使った道具や生活道具などがてんじされています。自然標本や写真などもてんじされ、建物の横には、シュガートレインなどもてんじされています。



↑ 御神輿 (おみこし)
ほうねんさいい
豊年祭宵祭りに用いられた。



↑ 和太鼓 (わだいこ)
はちじょう
八丈太鼓に用いられた和太鼓。



↑ 農業用具 昔、農業用として使われた道具。



シュガートレイン(1930 年ごろ サトウキビを運ぶ列車)

南大東の重要な作物であるサトウキビを運ぶため、1917（大正 6）年から 1983（昭和 53）年まで島内を走り続けた。南大東島の発展に大きな役割をはたした。

文化センターの横にてんじされたシュガートレイン

